

2023年3月31日

令和4年度研究開発報告

住所 富山県富山市新総曲輪1番7号  
管理機関名 富山県教育委員会  
代表者名 荻布 佳子

令和4年度地域との協働による高等学校教育改革推進事業に係る研究開発実施内容を、下記のとおり報告します。

記

1 事業特例校名・類型

学校名 富山県立氷見高等学校  
学校長名 三津島 淳  
類型 地域魅力化型

2 令和4年度研究開発実施概要

(1) 目指す生徒像

- ① 主体的に学びを求め、「問い→仮説→検証」を繰り返し思考する力を持つ「主体的に学ぶ人材」の育成を図る。
- ② 自ら学びながら他と協働する中で、自分の力を最大限に発揮する「協働して生きる人材」の育成を図る。
- ③ 時代を読んで積極的に取り組み、成否にかかわらず成果を次に繋げようとする「挑戦し続ける人材」の育成を図る。
- ④ 多様な価値観を受容し、既成概念を越えた新しい価値を生み出す「創造的に学ぶ人材」の育成を図る。
- ⑤ 社会や地域の機能と其中で生きる個人の役割を意識しつつ、社会の発展に寄与しようとする「社会貢献する人材」の育成を図る。

(2) 計画

- ① 地域と協働する課題解決型の学習を通して、地域を調査分析する手法と研究成果の報告や方策を提言し実行する意欲、態度を身につけるプログラムを実践する。
- ② 高大連携事業などの研究活動や進路情報を収集する機会から、進路意識の深化を図るプログラムを実践する。
- ③ 各学科の分野に応じて地域と協働する活動を通して、地域を調査する手法と研究成果の報告や方策を実行する意欲、態度を身につけるプログラムを実践する。
- ④ インターンシップ等の就業体験や進路情報を収集する機会を通して、進路意識の深化を図るプログラムを実践する。

(別紙様式5)

3 教育課程の特例の活用 (□で囲むこと)

- ア 学校設定教科・科目を開設している  
 イ 教育課程の特例の活用している

4 コンソーシアムについて

①コンソーシアムの構成団体

機関名	機関の代表者名
ひみ教育魅力化協議会	会長 安井 俊夫
ひみ伏木信用金庫	理事長 藤井 隆
富山県教育委員会	教育長 荻布 佳子
氷見市	市長 林 正之
氷見市教育委員会	教育長 鎌仲 徹也
氷見市自治振興委員連合会	会長 大嶋 充
氷見商工会議所	会頭 寺下 利宏
氷見市農業協同組合	代表理事組合長 伊藤 宣良
氷見漁業協同組合	代表理事組合長 森本 太郎
氷見高等学校 PTA	会長 正保 哲也
氷見高等学校同窓会	会長 嶋田 茂

②活動日程・活動内容

活動日程	活動内容
令和4年6月27日	ひみ教育魅力化協議会にて、今年度の活動計画の説明、意見交換、協力要請
令和4年10月26日	ひみ教育魅力化協議会にて、活動の経過報告、意見交換
令和5年2月27日	ひみ教育魅力化協議会にて、今年度の活動の最終報告、意見交換

5 研究開発の実績

(1) 実施日程

実施項目	実施日程											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
	探究手法の理解			調査・フィールドワーク ・考察				方策の実施		まとめ・発表		
未来講座HIMI学	2回	2回	2回	2回	フ ィ ー ル ド ワ ー ク	4回	3回	3回	1回	3回	発表 会	
シチズンシップ	2回	3回	2回	3回	同上	4回	2回	3回	発表 会			
人間探究基礎 数理探究基礎	2回	3回	2回	3回	同上	4回	2回	3回	発表 会			

(2) 実績の説明

【1学年 「未来講座 HIMI 学」】

- ・ 「地域の探究実践者と語る」を開催し、ポスターセッション形式で31名の外部の社会人が日々の取り組みについて発表。(1回)

(別紙様式5)

- ・ 学校設定科目「未来講座 HIMI 学」の12講座各々において、氷見市職員、民間の事業者等を講師として招聘し、講座、講演会、実技指導を実施(延べ33回)(5月～11月)
- ・ 「未来講座 HIMI 学」でのフィールドワーク(12講座で22回)
- ・ 株式会社 Prima Pinguino 代表取締役 藤岡慎二氏によるトップランナーズ講話(1回)
- ・ 合同会社楽しい学校コンサルタント Second 前田健志氏、トークグラフィッカー山口翔太氏による講演会の実施(1回)
- ・ トークグラフィッカー山口翔太氏によるグラフィックレコーディングの指導(1回)
- ・ 「未来講座 HIMI 学」最終発表会をポスターセッション形式にて実施(1回)
- ・ ひみ教育魅力化協議会主催 ひみ教育フォーラムでの生徒の発表(1回)
- ・ 氷見青年会議所 創立50周年記念事業での生徒の発表(1回)

#### 【2学年 「シチズンシップ」】

- ・ 「地域の探究実践者と語る」を開催し、ポスターセッション形式で31名の外部の社会人が日々の取り組みについて発表(1回)
- ・ 外部の専門家による探究活動への指導(34名)
- ・ 中間発表会を実施(1回)
- ・ 最終発表会をポスターセッション形式にて実施(1回)
- ・ G7 富山・金沢教育大臣会合開催記念事業「とやま探究フォーラム」での生徒の発表(1回)

#### 【2学年 「人間探究基礎」・「数理探究基礎」】

- ・ 外部の専門家による探究活動への指導(6名)
- ・ 中間発表会を実施(1回)
- ・ 最終発表会を実施(1回)

#### (3) 研究開発の実施体制について

- ・ 氷見市「地域おこし協力隊 教育魅力化コーディネーター」河原朱里氏が「地域学習支援員」として氷見高校で常駐勤務。氷見市役所地域振興課と協力して、地域と学校の架け橋として、外部社会人の招請、探究学習専門家との連絡調整、学校と協力してのカリキュラム作成などの業務を担当する。
- ・ 学校には、「未来講座 HIMI 学」および「シチズンシップ」を柱とする地域協働学習を担当する分掌を備え、該当する学年はもとより学校一体となつての取り組みに努めている。
- ・ 氷見市地域振興課主管のひみ教育魅力化協議会を中心にコンソーシアムを形成し、本事業に対して、カリキュラム編制、情報提供、学びの素材の提供、授業への積極的な参加などの全面的な支援体制を受けている。
- ・ 地元の大学等の研究機関と連絡し、学びの広がりや深まりをサポートしていただく体制を整えている。
- ・ 合同会社楽しい学校コンサルタント Second 前田健志氏にカリキュラム開発等専門家として指導していただいている。

(別紙様式5)

(4) 次年度以降の課題及び改善点

- ・ 実践活動を行う生徒の割合の増加。地域のプロジェクトとコラボや、地域のプレイヤーとのより密なコミュニケーションを実現し、生徒が地域で実際に学びの成果を地域社会に還元する活動を行うことを推進する。
- ・ 生徒が課題を発見するために必要な知識やスキル、経験を身につけさせるためのインプットの講座の質の向上。バスツアーの実施や、地域との深い連携による高い頻度での地域の社会人と生徒の交流機会を実現する。
- ・ 研修会等を実施し、担当教員をはじめとする教職員の「地域との協働による探究的な学び」の価値への更なる理解度向上に努める。
- ・ 生徒が地域社会と協働する活動を通じて、探究的な学びが学力や生活意欲の向上につながる学習であることへの理解の輪をより一層広げる。

【担当者】

担当課	富山県教育委員会 県立学校課	T E L	076-444-3450
氏 名	永井 俊太郎	F A X	076-444-4437
職 名	指導主事	e-mail	shuntaro.nagai@pref.toyama.lg.jp